

クラス番号	637	担当教員名	岡 久美子
テーマ	家族の変容と高齢者		
著書・論文 研究課題等	研究課題：「日本の高齢者福祉制度・政策の変遷」特に「介護の社会化―担い手に焦点を当てて―」 著書・論文等：「高齢者の地域生活を支える小規模・多機能ケアの意義～宅老所・グループホーム運動と制度化の検証～」『中部社会福祉学会研究』創刊号 2010 年 「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律の研究」『人間文化研究』No17 2012 年 6 月「介護の社会化論の研究」同 No18 2012 年 12 月 「私のからだ 私の病気 私の苦しみ だから、私に決めさせて」①医療の事前指定書 LMD②事前指定の分岐点？口から食べられなくなったら③事前指定導入のために―アンケート調査から（『SOGI』通巻 122 号 2011 年 3 月～124 号 2011 年 7 月 表現文化社）他		
ゼミナール概要			
キーワード：家族・高齢者・介護の社会化・地域福祉・ジェンダー			
【内容】 「家族」と聞くとあなたはどんなイメージを抱きますか？ 家族のメンバーや機能などは、時代や文化によって変容します。その歴史の変遷を確認し、家族機能の外部化・社会化について考察しましょう。 「高齢者」と聞くとあなたはどんなイメージを抱きますか？ 人は誰でも年をとることで緩やかに障害者となってゆきます。でも、介護の必要な弱者としてひとくくりにしないでください。障害の程度も多様ですが、同じような障害でもそれまで歩んできた道のりの数だけライフスタイルがあり、個性や能力があります。役割もあります。 「ジェンダー」と聞くとあなたはどんなイメージを抱きますか？ 男らしさや女らしさ、あるいは男は仕事女は家庭などに象徴される、社会的・文化的・歴史的につくられた性のありよう（ジェンダー）も社会問題解決策を考える視点の一つです。 【達成目標】 ゼミ生自身が課題を発見し、解決策を考察し、できれば実践する力を身につけます。 具体的には、各自のテーマに沿った文献・資料を探し、分析的に読み解く能力を高めます。フィールドワークなどによりテーマについての実態を把握します。それらを通じて社会構造と個人との関係の中で問題をとらえ、課題の解決を考え実践できるようにします。調査による受信能力と、討論・発表による発信能力を鍛え、ゼミ生のコミュニケーション能力を養成します。 【授業計画】 ・3 年次前期は、「家族」及び「家族の変容」そして「地域福祉」「ジェンダー」等について学習します。私から提供する資料だけでなく、ゼミ生自身にも文献・資料を探していただき、読み、討論し、レポートをまとめていただきます。 ・後期は、ゼミ生の興味・関心ごとに小グループに分かれ、テーマに関連する施設や市民団体などを訪問調査し、事前学習と実態把握の結果をまとめ発表をして、ゼミ生全体で情報を共有します。 ・4 年次では、各自が研究テーマを設定し、卒業論文執筆に取り組みます。ゼミの時間に中間発表を行い、ゼミ生による討論によって、内容を深めると共に、ゼミ生全体の調査・執筆能力を高めます。ただし、卒業論文の準備は3 年次の段階から徐々に行い、必要に応じてゼミ合宿も企画します。 ・ゼミ生には、文献研究だけでなく関連機関や施設、NPO や市民団体等への訪問とその活動への参加、学会への参加などを奨励しています。これらの活動は週 1 回のゼミ時間内では行うことはできません。時間外、交通費のかかる活動への参加も予定してください。			
担当教員からのメッセージ			
 皆さんは何か困った問題を抱えた時、どのように解決をしていますか？ 家庭や地域や学校や職場や…様々な場面で問題に突き当たった時、情報を収集し、分析的に考察し、仲間と一緒に解決策を実践する力をつける、そんなゼミにしましょう。解らないことや興味を持ったことなどを素直に出しあう、積極的な参加を歓迎します。エントリーシートには、①関心のあるテーマとその理由、②希望進路とその理由の 2 点を含めて記載してください。			